

第 20 回

栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課

「栗東の文化財について」

講座の様子



<栗東市の歴史文化の特徴>

① 原始・古代から現在まで交通の要衝

日本の東西を結ぶ交通の要衝として、東山道(中山道)と東海道が通る重要な場所。

② 奥深い山から扇状地まで、変化に富んだ地形に展開する豊かな歴史文化

栗東の南部は、湖南アルプスの山々が連なり、北部は野洲川が形成する扇状地と平野部からなっている場所。

という特徴の説明を受けました。

栗東に住んでいるものの、栗東の文化財について知る機会がないため、栗東の歴史文化の特徴や文化財を学ぶ機会になりました。



「遺跡と土器の年代を知る」では、発掘調査で土層と土の色で時代がわかるということや土器の形は、年代によって違うので時代がわかるというお話を聞かせていただきました。また、実際に出土した縄文時代の土器、飛鳥時代の須恵器など貴重な文化財を見せてもらいました。

学芸員により出土した土器や文化財の調査・保存に尽力していただいているからこそ、栗東市の歴史文化資産が守られていることを改めて知る機会となりました。

第21回 リクエスト講座
栗東歴史民俗博物館 学芸員

「栗東の歴史を知ろう」

講座の様子



栗東 100 歳大学受講生からのリクエストで、栗東の歴史について歴史民俗博物館で学びました。

<栗東という地名について>

栗太郡の東に位置するということからきており、栗太郡は、現在の栗東市全域および草津市全域、大津市の瀬田川以東、守山市南部までであったということでした。



<滋賀県の文化財の特色>

・滋賀県は全国有数の文化財保有県！
国宝:5位 57件の保有
重要文化財:4位 836件を保有している。

<栗東市の文化財の特色>

・宗教文化:栗東の仏教美術～旧山口寺と金勝谷の宗教文化～について
・街道文化:名所をめぐる～浮世絵の中の街道と旅について
・祭礼芸能:「小杖祭りの祭礼芸能」のユネスコ向け異文化遺産の登録について学芸員から講座をうけてから、実際に歴史民俗博物館内の展示室を見学しました。



栗東100歳大学受講生からは、^{こまさかまがいがつ}狛坂摩崖仏の等身大のレプリカを見て「一度は実物を見たい」という感想が聞かれ、「春になったら、9期生で参加者を募って摩崖仏を見に行こう」という声がありました。また、栗東の仏教美術では、旧山口寺の四天王立像や地蔵菩薩座像、など文化財を見ました。

第 22 回
龍谷大学

「スマートフォンの使い方 ①」

講座の様子



「スマートフォンの使い方①」では、LINE アプリの使い方について

- ① 友だち追加ができる
 - ② LINE グループを作れる
 - ③ メッセージ・写真を送れる
 - ④ 通話(音声/ビデオ)ができる
 - ⑤ グループ LINE のマナーとルールを理解する
- を目標に龍谷大学生に LINE の操作を教えてもらいました。とくに、メッセージや写真を送り合ったり、ビデオ通話では受講生同士で通話する体験をしました。操作がわからない時には、龍谷大学生が丁寧に教えてくれ、納得いくまで繰り返し体験しました。

第 9 期生のグループ LINE を作成し、LINE 担当リーダーを決めました。

グループ LINE のルールについて確認し合い、連絡時間や既読に“リアクション”で反応することを学びました。

第 23回
龍谷大学

「スマートフォンの使い方 ②」

講座の様子



「スマートフォンの使い方②」では、龍谷大学生との交流も含めて講座を進めました。
内容として①現役大学生も栗東 100 歳大学受講生も、大学での学びをどのように活かしていくか、②チャット GPT との付き合い方の 2 つから選択し、グループ毎に話し合いを進めました。

どのグループも②チャット GPT について話し合いました。

チャット GPT のアプリを取得することから始めましたが、アプリの取得に随分手間取り、龍谷大学生に助けをもらいながらアプリの取得の体験ができました。

その後、アプリを使って気になっていることを調べたり、質問したりと受講生も挑戦していました。

栗東100歳大学生は、「楽しい体験ができた」「相談したいことなど聞くと、肯定してくれる」「話し相手になってくれるので、はまってしまいそう」などの声が聞かれました。

受講生がチャット GPT に、栗東 100 歳大学のロゴマーク作成を依頼して出来上がったロゴマークです。

